

# 特別養護老人ホーム ともの家

地域の皆様や各関係機関の皆様には日頃から多大なるご支援、ご協力を賜り、開設10年目を迎えることができましたことを感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症ですが、令和5年5月8日には2類相当から5類感染症に変更され、最近ではマスクなしでの外出姿が見られるなど、世間も徐々に感染症前の姿を取り戻してきたように思われます。

しかしながら、新型コロナウイルスは依然と感染力強く、インフルエンザとともに感染予防がまだまだ必要な状況です。

令和6年は介護保険改正の年で、政府は昨年末に介護報酬を全体として1.59%引き上げ、うち0.98%を介護職員の賃上げに充てる方針を決定。残りの0.61%を各サービスの基本報酬などに振り分け、介護職員以外の職種の処遇改善も実現する考えを打ち出していました。

改正の内容も、質の高い公正中立なケアマネジメント、地域の実情に応じた柔軟かつ効率的な取り組み、医療と介護の連携推進、看取りへの対応強化、感染症や災害への対応力の向上、高齢者虐待防止の推進、認知症の対応力の向上などの地域包括ケアシステムの推進をされています。また、自立支援・重度化防止のに向けた策として、リハビリ・機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組みやLIFEを活用した質の高い介護、介護職員の処遇改善、生産性向上等の職場環境づくりなど、幅広い制度改革が行われます。私たちも、一層の経営努力が必要であると考えています。

地域の皆様、ご家族の皆様にも信頼され、選ばれる「地域に開かれた笑顔のある温かい施設」として、今年度もさらに飛躍していきます。

施設長 齊藤 清



## 運営理念

私たちは社会福祉の理念に則り、個人個人が人としての尊厳を保ち、社会の中で障がいの有無や年齢、性別に関わらず、かけがえのない人としての生活を送ることができるよう支援いたします

## テーマ 愛と感謝

## 行動指針

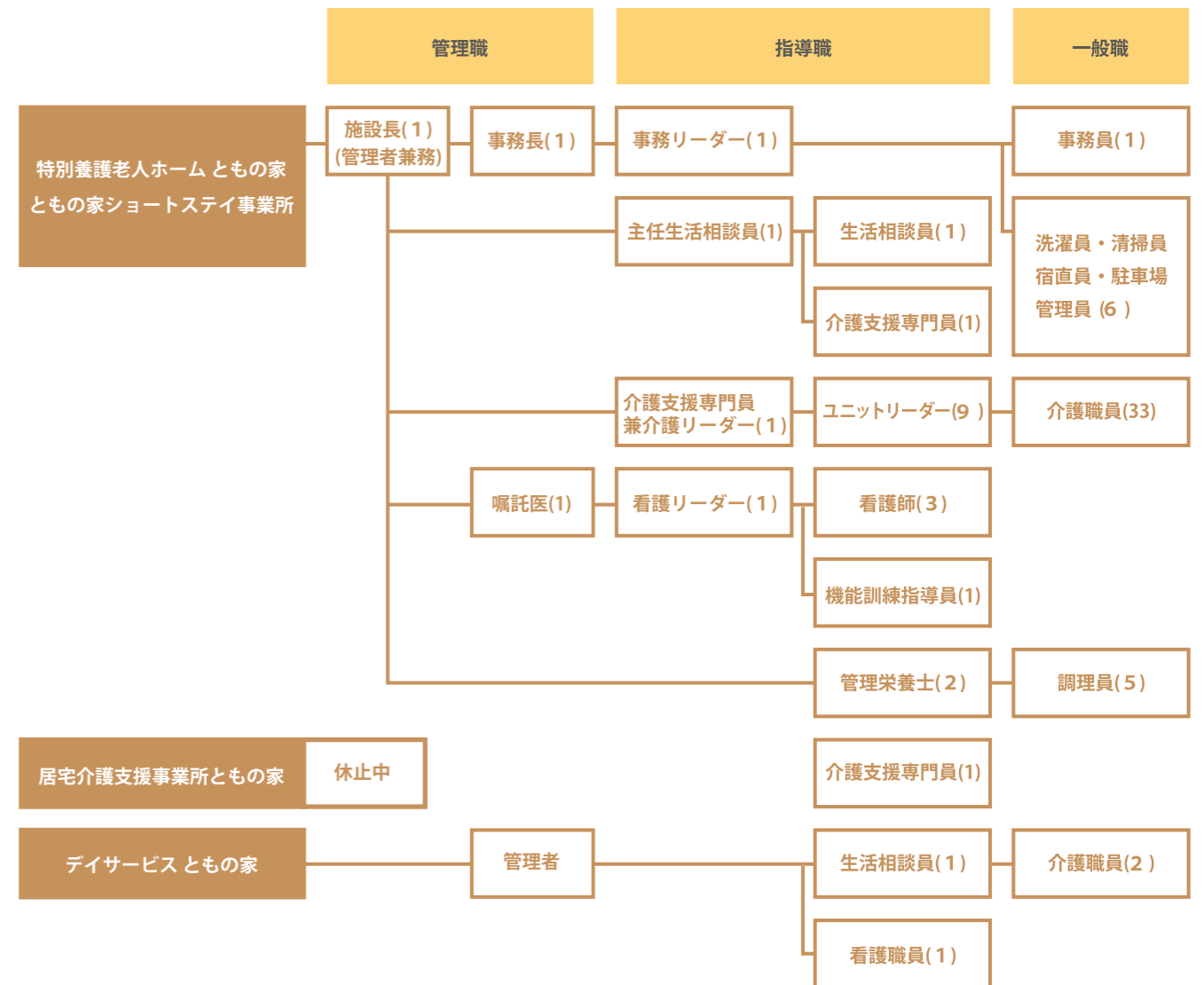
「インテグリティ」

Be(在り方) - Do(行動) - Have(結果)の一致。  
すべての発想と行動が、「愛と感謝」にかなっているか。

〒733-0852  
広島県広島市西区鈴が峰町41番18号  
Tel.082-270-0145 Fax.082-270-0146

## ともの家 組織体制

令和6年2月1日現在



※ ( ) 内は職員数・パート、派遣職員含

令和6年2月1日現在  
特別養護老人ホーム  
ご入居者数 80名(短期除く)  
平均年齢 89.9歳



ともの家 令和6年度目標・令和5年度実績

(令和6年1月末現在)

	令和5年度目標	令和5年度実績(見込み)	令和6年度目標
特別養護老人ホーム	稼働率 90.0%	稼働率 84.5%	稼働率 90.0%
ショートステイ	稼働率 72.0%	稼働率 62.6%	稼働率 72.0%
居宅介護支援事業所	休 止	休 止	休 止
デイサービス	稼働率 70.0%	稼働率 49.4%	稼働率 70.0%
調理部	食品ロス 15%削減 新規メニュー10食追加	食品ロス 5%削減 新規メニュー 7食追加 ※2	食品ロス 10%削減 新規メニュー10食追加
事務局	※1 事業活動資金収支差率 15.0%	事業活動資金収支差率 15.4% (年度見込) (令和3年度全国平均 7.9%)	事業活動資金収支差率 15.0% (※1)
施設全体	退職率 15.0%	退職率 6.6%	退職率 15.0%

※1 事業活動資金収支差率…事業活動収入に対する事業活動資金収支差額の割合  
 ※2 令和4年度は食品ロス13%減、新規メニュー21食追加



ともの家 令和6年度職員研修計画表

月	研修内容	講 師	備考
4	理念について	理事長 清水 ひとみ	運営会議
5	感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関する研修	管理栄養士 田邊 あずさ	法定研修
	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	看護リーダー 原田 睦子	
6	身体拘束、虐待等排除のための取り組みに関する研修	ユニットリーダー 只浦 穂乃花	法定研修
	感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関する研修	ユニットリーダー 乙原 賢	
	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	ユニットリーダー 濱本 亜希	
7	身体拘束、虐待等排除のための取り組みに関する研修	ユニットリーダー 長岡 直子	
	接遇について	事務リーダー 鍋倉 未佳	
	レクリエーションとは	相談員 大川由香里	
9	ポジショニングについて	機能訓練指導員 落合 和登	
	利用者等のプライバシーの保護の取り組みに関する研修	ユニットリーダー 6階	
	腰痛予防について	ユニットリーダー 佐野 幸喜	
10	調整中	生活相談員 山下 孝博	
	従業者に対する認知症及び認知症ケアに関する研修	主任生活相談員 大背 博嗣	
	ターミナルケアに関する従業者に対する研修	ユニットリーダー 高橋 亮太	
11	従業者に対する医療に関する研修	看護リーダー 入前 靖子	
	従業者を対象とした倫理及び法令遵守に関する研修	ユニットリーダー 大森 美香	
1	非常災害・火災時の対応に関する研修	ユニットリーダー 林 要佑	法定研修
	感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関する研修	管理栄養士 井原 晴香	
	事故の発生予防又はその再発の防止に関する研修	ユニットリーダー 4階	
3	身体拘束、虐待等排除のための取り組みに関する研修	生活相談員 清政 拓也	
	予備		
	予備		

※新型コロナウイルス感染症の流行状況や講師の都合等により、日程変更や中止の場合があります。  
 ※8・12・2月は研修予定なし、3月は予備



## ともの家 中長期期計画

### 《中長期計画の柱》

運営の基本方針を「ケア」「人材」「地域」「建物管理」という4つのキーワードで整理し、今後の事業計画の指針として職員に浸透するよう、4つの基本姿勢を中長期計画の柱とした。

- (1) ご入居者・ご利用者に対する基本姿勢
- (2) 人材育成に対する基本姿勢
- (3) 地域社会に対する基本姿勢
- (4) 施設、主な設備改修の計画的な基本姿勢

### (1) ご入居者・ご利用者に対する基本姿勢

ご入居者・ご利用者の尊厳ある生活を保障していくためには、一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した「個別ケア」が求められます。「個別ケア」を実現するために「ユニットケア」に取り組みます。

#### 《長期計画》

ご入居者・ご利用者の人権を常に尊重し、サービスの質の向上や環境改善に積極的に取り組む社会福祉法人～社会福祉法人として常に原点に立ち戻り、一人ひとりの人権を尊重した活動を行います～

#### 《中期計画》

- ◆ ご入居者・ご利用者の自己決定と選択を尊重し、その権利擁護を実現するとともに、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスを提供します。
- ◆ ご入居者・ご利用者の生活が施設やサービスの中で完結することなく、ご家族や知人・友人、地域との関係が継続、さらに促進されるよう支援します。
- ◆ 良質かつ安心・安全なサービス提供を実現するため、ご入居者・ご利用者の生活環境・利用環境を整備します。

#### 《令和6年度の取り組み計画》

今年度も、24時間シートの活用、余暇活動の充実、口腔ケアについて取り組みを継続します。

- ◆ 毎月の行事やレクリエーション、一人ひとりに合った活動の充実を目指します。
- ◆ 24時間シートを定期的に見直し、多職種と連携してその人らしい生活が継続できるように支援します。
- ◆ 「座位保持」「食事介助」「口腔ケア」の3項目を重点的に取り組むことで、美味しく食事ができるよう支援します。また、他セクションと情報交換、情報共有を図ることで、ご入居者の摂食・嚥下機能の維持及び向上に繋がります。



### (2) 人材育成に対する基本姿勢

近年、人手不足が深刻化している介護業界。2021年の介護事業所全体の6割以上が介護業界の人手不足を実感しています。離職率は低下傾向が続き2021年はピークを迎えました。7割弱の事業所で65歳以上の労働者を雇用しており、介護業界の人手不足の深刻化が止まらない昨今、採用計画を見なおすにもまったく目途が立たない状況です。

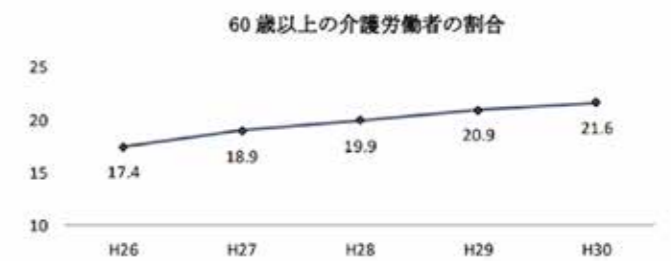
少子高齢化が進む日本全体の中でも、介護業界の人材不足は特に深刻な状況となっています。

下記の図を見ていただければ分かるように、介護労働者の割合は年々約1.0%ずつ上昇しており、今後の少子高齢化を考えるとますます割合は増える見込みです。

介護業界は特に、高齢化が進んでいる業界でもあり、平成30年の調査では60歳以上の割合は今年に入り21.6%に上りました。

このままでは、将来にわたって介護サービスを維持できなくなる可能性もあります。介護保険制度があっても必要とする人がサービスを受けられないという危機的な状況に陥りかねません。

人材の確保に苦慮するなか、ともの家では人材育成を最重要課題とし、「地域に選ばれる魅力ある施設」を目指します。



#### 《長期計画》

良質な社会福祉人材を育成する社会福祉法人  
～社会福祉に必要な人材を教育、育成します。また、福祉従事者の地位向上に向け積極的に取り組みます～

#### 《中期計画》

- ◆ 法人理念に基づき、目指す施設経営を実現するため、職員の質の向上、福祉サービスの質と量の向上の「要」となるリーダー層の育成に取り組みます。
- ◆ 福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇の全般の向上、働き甲斐のある職場づくりに取り組みます。

#### 《令和6年度の取り組み計画》

- ◆ 外部研修(オンライン研修含)への積極的に参加する。
  - ① ユニットリーダー研修受講 令和5年度は1名受講。(毎年1名受講予定)
  - ② 介護実習指導者講習会受講 令和5年度は1名受講。(毎年1名受講予定)
  - ③ 認知症ケアに関する研修会に積極的に参加。  
令和5年度は外部研修に1名参加。内部研修を1回開催。
  - ④ 資格取得に向け勉強会を開催する。(介護福祉士、介護支援専門員)
  - ⑤ ハローワークでの事業所説明会を行う。(令和5年度は、ハローワーク広島で3回実施)

### (3) 社会に対する基本姿勢(地域連携)

2023年5月1日時点の日本の総人口は1億2447万7千人で、前年同月に比べ59万5千人(0.48%)の減少。2009年をピークに、14年連続で減少しています。75歳以上人口は、1981万9千人で前年同月に比べ76万1千人(4.0%)増加しています。また、人口が増えた自治体は、1896団体のうち279団体と、全体の僅か14.7%でした。

ともの家がある鈴が峰町の高齢化率は全国平均の数値を大きく上回る40%近くとなっており、様々な課題を抱えています。地域のニーズに応えるよう、介護サービスのみならず、地域の社会資源とも連携して住み慣れた地域で生活できるよう支援します。

#### 《長期計画》

地域の実情・ご利用者の必要性にあわせて、制度化された社会福祉事業と制度化されていない地域公益活動を組み合わせ、社会資源と連携して、サービスを提供する仕組みを構築します。

#### 《中期計画》

- ◆ 地域における様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図ります。
- ◆ 施設での取り組みなど、「見える化」にとどまらない「見せる化」を推進し、ご家族、地域に向けて、情報の発信に取り組めます。

#### 《令和6年度の取り組み計画》

令和5年度の取り組みを継続して行います。

- ◆ 地域交流スペース活用の検討をする。  
新型コロナウイルス感染症流行のため、地域交流スペースを活用していないが、終息次第定期的な催しを含め、地域と方と相互交流を検討する。
- ◆ ご家族、地域に対しての情報発信について
  - ① 毎月、ご入居者の写真をご家族に郵送する。(新型コロナウイルス感染症終息後も継続する。)
  - ② ご入居者、ご利用者の普段の様子等、写真など個人アルバムを作成し、ご家族が面会等で来所されたとき、いつでも閲覧できるようにする。



### (4) 施設・主な設備改修の計画的な基本姿勢

ご入居者、ご利用者の住まい、活動の場であり、私たちの職場でもある「ともの家」は「安全」で「快適」に、そして「働きやすい」生活環境であることが望まれます。施設は経年とともに様々な問題が生じてくるため、修繕計画を作成し実行する。

	令和7年 (開設10年)	令和12年 (開設15年)	令和17年 (開設20年)	令和22年 (開設25年)	備考
防水関係	○		○	大規模修繕	
厨房機器関係	○		○		
空調関係		○			
特殊浴槽		○			
自動車関係		○			

・令和5年度は、物価高騰対策として一部LED照明への切り替えを実施した。

#### 【中長期計画検討課題】

下記に掲げる事項は、上記の4つの基本姿勢とは別に今後の検討課題とする。

- ◆ 新規事業所開設の検討。
- ◆ 外国人の受け入れについて。
- ◆ 資格取得に向けての助成。
- ◆ 研修体系の構築。(採用3年(特に1年)未満職員のフォローアップ研修、管理職研修等)





部署行動計画

部署行動計画

ショートステイ 介護2階

特別養護老人ホーム 介護2階

令和5年度を振り返って

令和5年度を振り返って

- ご利用者の在宅での様子を相談員から聞くことで、生活リズムを把握し、支援を行うことができた。
- 職員とはその都度、意見を言い合いケアの統一ができた。相談員と情報の共有ができていないこともあったので、こまめな確認が必要だと思った。
- 利用者に合わせた口腔ケアを行うことができた。自立している方の口腔内の確認は前年度に比べできていたが、定着を目指す。
- ご利用者と一緒に製作活動はでき、フロア内に飾ることができた。飾るとご利用者同士の会話がはずんだりしていた。来年度も継続して取り組みたい。

- ご入居者を日頃から、しっかり様子観察を行うことにより変化に気づき、対応できた。
- 報告・連絡・相談・確認が不十分なきががあったため、意見交換など話し合いができるように努めたい。
- ご入居者一人ひとりの好みや安全面を考えた居室づくりができた。
- 訪問歯科診療より口腔内の汚れの指摘もあり、清潔に保てるよう統一した口腔ケアを行っていきたい。
- ご入居者と一緒に季節の物を製作し、フロア内に飾り付けをすると喜ばれ笑顔が見られた。

令和6年度 私たちが目指すもの

令和6年度 私たちが目指すもの

「ショートステイでの生活を穏やかに笑顔がひき出せる空間をつくる」

「ご入居者が安心して生活し、笑顔で過ごせるユニットをつくる」

- ◆ 暮らしの継続を念頭にケアを行う。
- ◆ 快適に過ごせる空間をつくる。
- ◆ 口から美味しく食事ができるように一人ひとりに合った口腔ケアを行う。

- ◆ 一人ひとりに合ったケアを行う。
- ◆ 職員同士、協力し合い、楽しく働ける環境をつくる。
- ◆ 居心地の良い空間づくり。

具体的行動

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～暮らしの継続を念頭にケアを行う～

- ① ご自宅での生活リズムを把握し支援を行う。
- ② ご利用者、ご家族の意志、思いを尊重した支援を行う。
- ③ ご利用者の状態に合わせた支援を行う。

◆ 職員として

～自覚、向上心を忘れず、ご利用者のケアを行う～

- ① その都度、気づきなど話し合いを行い、ケアの統一を図る。
- ② 他職種と情報の共有を行う。
- ③ 知識や技術の習得など向上心を忘れない。

◆ 環境整備

～快適に過ごせるフロアをつくる～

- ① 換気、室温の調整を行う。
- ② ご利用者に合わせた居室をつくる。
- ③ 手すり、車椅子など手に触れる所の消毒を徹底する。

◆ 口腔ケア

～快適に過ごせる空間をつくる～

- ① ご利用者に合わせた口腔ケアを行う。
- ② 口腔機能を維持、向上することで QOL 向上に繋げる。
- ③ 舌の汚れも確認し、舌磨きも行う。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～四季折々を感じられる空間をつくる～

- ① 四季を感じていただけるような空間をつくる。
- ② レクリエーションを行うことで、笑顔を引き出す。
- ③ ハンドマッサージなど五感を刺激するレクリエーションも取り入れる。



◆ ご入居者・ご利用者に対して

～一人ひとりに合ったケアを行う～

- ① 積極的にコミュニケーションを図り、ご入居者の思いを尊重したケアを行う。
- ② 変化に早く気づき、早い対応ができるようにする。
- ③ 24時間シートを活用し、統一したケアを行う。

◆ 職員として

～職員同士、協力し合い、楽しく働ける環境をつくる～

- ① 報告・連絡・相談・確認の徹底。
- ② 他職種と連携を図り、情報交換、情報共有を行う。
- ③ より良いケアを行うために、声をかけ合い協力し合える環境をつくる。

◆ 環境整備

～居心地の良い空間づくり～

- ① 清掃、換気の徹底。
- ② フロア、居室の整理整頓を行う。
- ③ 安全な空間づくり。

◆ 口腔ケア

～美味しく食事をするために～

- ① ご入居者の口腔状態を把握し、訪問歯科診療と連携を図る。
- ② 統一した口腔ケアを行い、口腔内を清潔に保つ。
- ③ 口腔体操を行い、嚥下機能の維持、向上を図る。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～笑顔で楽しい時間を過ごしていただく～

- ① ご入居者と一緒に季節の物を製作し、四季を感じていただく。
- ② ご入居者一人ひとりに合った楽しみを見つけ余暇活動の充実を図る。
- ③ 毎日、短い時間でも体操やレクリエーション活動を行う。



部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護3階

令和5年度を振り返って

- 職員が不足するなかでも、協力し合い、各々対応することができた。
- 職員間でのコミュニケーションを大切にすることで、報告、連絡、相談もスムーズに行えたことが、ご入居者の状態把握や個別ケアに繋がった。
- 改善すべき課題などにも迅速に対応できた。
- 季節に合わせた行事を行い、喜んでいただくことができた。

令和6年度 私たちが目指すもの

「ご入居者が心地よく安心して過ごせる場を創造する」

- ◆ ご入居者一人ひとりの心に寄り添うフロアを目指す。
- ◆ 安心して笑顔で過ごせる生活の場をつくる。
- ◆ 安全、安楽、安心とQOLの向上を目指す。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～気軽に話し合える信頼関係の構築～

- ① 居室担当者を中心とし、生活リズムの把握、ケアの統一化を図る。
- ② 言いたいことが言える場をつくる。
- ③ ご入居者の希望や思いを常に意識する。

◆ 職員として

～小さなことでも気付き、質の向上を目指す～

- ① ご入居者、ご家族の希望や思いに沿ったケアを行う。
- ② その都度考えなどを言い合えるスタッフの関係をつくる。
- ③ 他部署との連携を大切にする。

◆ 環境整備

～清潔感のあるフロアをつくる～

- ① トイレ、フロアの清掃や換気を徹底する。
- ② 離床後の寝具の整頓。
- ③ 口腔ケア後の洗面台掃除。

◆ 口腔ケア

～適切な口腔ケアの統一～

- ① 食後の口腔ケアを徹底し、口腔内の清潔を保つ。
- ② 訪問歯科診療の先生と連携を図る。
- ③ 口腔ケアの質の向上を目指す。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～季節ごとの行事を実施～

- ① 行事計画書の良かったところと反省点を活かし、より良い行事と感じていただけるようにする。
- ② 個別での余暇活動にアイデアを出し合い、充実した生活が送れるよう支援する。
- ③ 季節を感じることでできる行事をできるだけ実施する。



部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護4階

令和5年度を振り返って

- ご入居者の思いを尊重し、その人らしい生活の場の環境をつくることができた。
- 基本的な生活におけるプライバシーの侵害(ノックをせず入室するなど)について、改めて考え見直した結果、職員の質の向上に繋がった。
- 居室やフロアの環境面を各職員が見直したことで、リスク把握に繋がりがり、回避にできた。安心、安全とさせていただける空間づくりに取り組んだ。
- 口腔ケアの統一はできたが、口腔体操などの機能向上や維持に働きかけるケアが不十分であった。
- 全体的なレクリエーションや季節を感じていただける空間づくりはできたが、個々での余暇活動はなかなか取り入れることができなかった。

令和6年度 私たちが目指すもの

「ご入居者にとって“特別な場所”ではなく“いつもの場所”  
とさせていただける生活と空間を提供する」

- ◆ ご入居者の安心できる空間の場を提供する。
- ◆ 職員一人ひとりが挨拶や声かけを心がける。(非言語的コミュニケーション行う)
- ◆ ご入居者の状態を把握し、寄り添ったケアを提供する。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～その人らしい暮らしの継続を支援する～

- ① ご入居者の生活歴や習慣を知り、一日の生活習慣を取り入れる。
- ② ご入居者の考えや思いを把握し、その人らしい生活の場を提供する。
- ③ 生活における基本的なプライバシーを守るケアを行う。

◆ 職員として

～職員間での情報の共有とケア方法の統一の徹底～

- ① 記録や話し合いをしっかりと行い情報の共有を行う。
- ② より良いケア方法を見つけ、職員同士でケア方法の統一を図る。
- ③ 職員一人ひとりが日々のケア方法を振り返り、良い点、悪い点を見つける。

◆ 環境整備

～安心と安全と思える生活の場を提供～

- ① ご入居者にとって「安心」と思っていたらけるよう居室内のリスクなどの把握と対策を行う。
- ② 車いすや歩行器など定期的なメンテナンスを行う。
- ③ 居室内の温度の把握と定期的な換気を行う。

◆ 口腔ケア

～食べることが楽しいと思える環境づくり～

- ① 口腔ケア時、口腔内を観察し状態を把握する。
- ② 訪問歯科診療の先生とご入居者の口腔内の状態の情報共有と連携を図る。
- ③ 他職種と連携を行うことで、口腔内の状態(嚥下、咀嚼)を把握し、ご入居者に合った食事を提供する。

◆ レクリエーション、余暇活動等

～何気ない楽しい時間の提供～

- ① 個々で楽しんでいただけるレクリエーションを模索し把握する。
- ② 音楽を流したり、定期的に体操を行うなど時間をつくる。
- ③ ご入居者一人ひとりへの声かけとコミュニケーションをしっかりと行う。



部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護5階

令和5年度を振り返って

- 大きなトラブル・クレームもなく、ご入居者の思いに沿った援助、生活の場を提供できた。
- 職員間の情報共有、伝達事項がスムーズに行えていないことがあった。
- 環境整備や清掃などもう少し積極的に行えば良かった。

令和6年度 私たちが目指すもの

「ご入居者、職員間ともに穏やかに生活できるフロア」

- ◆ ご入居者に丁寧なケア、対応を行う。
- ◆ 職員同士、しっかりコミュニケーションを取る。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**  
～安心して日常を過ごしていただけるようなケアを行う～
  - ① ご入居者の要望に誠心誠意に対応する。
  - ② ご入居者に丁寧な声かけ、会話を行う。
  - ③ 24時間シートを活用して、統一したケアを行う。
- ◆ **職員として**  
～職員一人ひとりが責任を持ってご入居者の対応業務を行う～
  - ① 報告、連絡、相談を確実に行う。
  - ② 業務中の言葉遣い、服装、身だしなみに気をつける。
  - ③ 他部署との連携、コミュニケーションを密に図る。
- ◆ **環境整備**  
～4S(整理、整頓、清掃、清潔)の徹底～
  - ① 誰が見ても清潔なフロアづくり。
  - ② 換気を行う。
  - ③ 各居室の清掃、衣類、荷物の整理整頓。
- ◆ **口腔ケア**  
～食形態を少しでも維持できるように口腔内を清潔にする～
  - ① 訪問歯科診療、医務などに指導を受けながら口腔ケアに努める。
  - ② 残渣物が残らないように、毎食、口腔ケアを行う。
  - ③ 統一した口腔ケアを行う。
- ◆ **レクリエーション、余暇活動等**  
～季節に合ったイベントを行う～
  - ① ご入居者の誕生日にお祝いする。
  - ② 季節に合わせた掲示物を行う。
  - ③ ご入居者一人ひとりに合った余暇活動を考える。

部署行動計画

特別養護老人ホーム 介護6階

令和5年度を振り返って

- ご入居者一人ひとりの思いを尊重してケアを行うよう努め実践したが、職員主体のケアになることもあった。職員としてA・Bユニット間で協力体制を確立し、全ての職員が両ユニットのご入居者状況が共有できた。
- 環境整備  
各職員が意識を持って行動していたが、業務多忙時、環境整備の優先順位が下がってしまい、満足できる達成状況ではなかった。
- 口腔ケア  
ご入居者一人ひとりに合わせた口腔ケアを実施するため、訪問歯科への助言を求め実施、医務室、栄養課と連携し食事形態や咀嚼や嚥下状態の観察、情報共有を行った。
- レクリエーション、余暇活動  
上半期は2ヶ月に1度のペースで行事を行い、ご入居者に楽しんでいただいていたが、下半期に入り行事開催ができない月も増えたが、ご入居者一人ひとりに対しての個別レクは実施できた。

令和5年度 私たちが目指すもの

「ご入居者一人ひとりが、その人らしさを出せるよう、個別ケアを提供する」

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**  
～一人ひとりのご入居者に合わせたケアを行う～
  - ① ご入居者主体を意識し、その人に合わせたケアを行う。
  - ② 「まずは話を聞く」傾聴する姿勢を崩さない。
  - ③ 24シートを活用し、統一したケアを行う。
- ◆ **職員として**  
～介護職員として知識・技術の質を高める～
  - ① ご入居者の情報収集に努め、収集した情報を職員で共有する。
  - ② 同業種、多職種への報告、連絡、相談、確認の徹底。
  - ③ 介護のプロセスとして、常に向上心を持ち、新しい知識や技術を学び、現場で活かせるよう努める。
- ◆ **環境整備**  
～ご入居者に合わせた、くつろぎの空間をつくる～
  - ① 職員詰所、ご入居者居室、フロア共有スペースの4S(整理、整頓、清掃、清潔)に努める。
  - ② ご入居者が使用する車いす、歩行器など含む、介護用品のメンテナンス、清掃を行う。
- ◆ **口腔ケア**  
～ご入居者に合った正しい口腔ケアを提供する～
  - ① 訪問歯科診療と連携を図り、ご入居に合った口腔ケアを行う。
  - ② 口腔体操や口腔内マッサージなどを行い、摂食嚥下機能の維持、向上に努める。
- ◆ **レクリエーション、余暇活動等**  
～季節ごとの行事を行い、ご入居者が楽しめる場をつくる～
  - ① 季節に応じたイベントの企画し、実施する。
  - ② ご入居者一人ひとりに合った余暇活動を考える。



部署行動計画

特別養護老人ホーム・ショートステイ 医務室

令和5年度を振り返って

- 令和5年度は全職員が感染症対策に取り組み、発症した際もスムーズに対応でき、拡大することなく収束できた。今後も今までの経験を活かし対応していく。(1ケア1消毒の徹底)
- ご入居者の健康を維持するために職員間、他職種との報告・連絡・相談を行い、状態把握に努め異常の早期発見ができた。今後も継続して情報収集を行い、情報管理を行っていく。
- 事故報告書、ヒヤリハットによる防止策を検討し、統一した対応に取り組み、継続する。
- 身体拘束について、カンファレンスを行い、委員会開催で検討し、必要最低限に取り組み。
- 口腔ケアについて、訪問歯科診療の先生に助言をいただきながら、美味しく食事ができた。また、食後のケアにも重点を置き、継続する。
- 終末期にあるご入居者の家族に対し、意思決定を行う際の不安や迷いを共有し、選ばれた意思を尊重した。

令和6年度 私たちが目指すもの

「感染対策を遵守して「安心・安全」を感じていただける看護の提供をする」

- ◆ 感染対策のため‘1ケア1消毒’を実施する。
- ◆ ご入居者の健康を維持するために職員間で情報共有し、異常の早期発見、早期治療を行い、悪化防止に努める。
- ◆ 職員間で風通しの良い環境づくりに努め、ご入居者が不安なく穏やかに過ごしていただけるよう対応する。
- ◆ 訪問歯科の先生に助言をいただきながら、個々の状態に合わせた食事形態で最後まで安全に美味しく食事ができるように支援する。
- ◆ 終末期にあるご入居者の家族に意思決定を行う際に携わり、適切なケアをする。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**  
～ご入居者が生き生きと生活できるよう心温まるナースケアに取り組む～
  - ① ご入居者、ご家族の意志決定を行う過程に携わり、適したケアを提供する。
  - ② 事故(感染、誤嚥、転倒、誤薬)を未然に防ぎ、安全に落ち着いて生活ができるよう支援する。(マニュアルの活用、ヒヤリハット、事故報告書による防止策を検討し統一した対応)
  - ③ ご入居者の健康管理(年2回の血液検査、1日の食事、水分摂取状況、便秘コントロール、体重増減)に努め、異常を早期に発見し、主治医へ的確に報告し、悪化防止、早期治療に繋げる。
- ◆ **職員として**  
～同業種、他職種でコミュニケーションを図り、統一したケアが提供できるよう連携を深める～
  - ① 毎日の申し送りや情報共有し、統一した看護ケアを明るく笑顔で行う。
  - ② ご入居者から笑顔が引き出せるよう、しっかり傾聴し受容する。
- ◆ **環境整備**  
～医務室の物品整理を行うとともに、業務についても改善し円滑を図る～
  - ① 書類ファイルの整理を行う。(看護日誌、往診表、他科受診報告書)
  - ② 内服薬(定期、臨時)について薬局と連携を図り整理する。
  - ③ 医療品を整理する。
- ◆ **口腔ケア**  
～適切な口腔ケアを行うことにより疾病予防、口腔機能維持へと繋げる～
  - ① 定期的な歯科受診で摂取機能の維持に対する支援を行う。
  - ② 機能訓練指導員と共有し、安楽な摂取姿勢、介助方法を提供する。
  - ③ 摂取機能低下兆候があるご入居者に対してカンファレンスを行い、食事形態の見直しを行い、必要に応じて、管理栄養士と相談し、個々に合った栄養補助食品の提供を行う。

部署行動計画

相談課

令和5年度を振り返って

- ご入居者の状態変化に伴いケアプランの変更や修正をおこなった。
- ご家族へ面会案内を送付し実施予定期間外でも相談や希望に応じて柔軟に対応した。また、入居者の容態変化や看取り時は感染症対策のもと直接、会っていただいた。コロナウィルス5類移行後は短時間による外出にも対応した。
- 職員の質向上と統一された支援の後方援助として、認知症の理解について講義を実施した。
- 各部署、ご入居者・ご利用者、その家族からの相談や苦情に対して関係する所へ連絡を取り対応をおこなった。
- 新規入居者、利用者の利用開始前には事前に関係部署と情報共有し面談を実施。得た情報をフィードバック後、ケアの方向性を確認し、追加情報の収集をした。
- 施設内外関係者と連携を取る事にあたり訪問歯科と介護・看護現場との連絡・調整役を担った。
- 特養ご入居者以外に短期ご利用者へ訪問歯科案内の道筋が確立できた。

令和5年度 私たちが目指すもの

『「自立に向けた援助、入居者の自己決定を尊重、身体拘束廃止」を実現する』

可能な限り病気や障害から遠ざかり普通の生活へ近づけるために、残存能力・潜在能力の維持に向けた情報、健康に生活するための専門的な情報を提供・共有することによって、その人がその人らしく生きられるよう支援します。

具体的行動

- ◆ **ご入居者・ご利用者に対して**  
～入居者さんの変化に伴う、区分変更と介護報酬の適正化～
  - ① ご入居者の状態が変化した場合、ケアプランの変更と修正を行う。
  - ② 効率的なケアカンファレンスを開催しブラッシュアップを行う。
  - ③ フロアラウンドをおこない、入居者・利用者の状態把握を行う。
  - ④ 感染症対策を考慮した家族面会の実施、外出の支援をする。
- ◆ **職員として**  
～職員の質向上と統一された支援のバックアップ～
  - ① 施設内研修の計画、実施または資料配布を行う。(年2～4回予定)
  - ② 各部署へのヒアリングを行う。
  - ③ 資格取得への補助、支援を行う。
- ◆ **環境整備**  
～各部署へご入居者・ご利用者の正確な情報提供と共有～
  - ① 状態変化や事故発生時におけるご家族への適確な電話連絡を行う。
  - ② 苦情に対しての対応の考案、それに伴う家族への迅速な説明を行う。
  - ③ 各部署からあがった相談、案件を外部事業所、家族と調整し結果を迅速にリリースする。
  - ④ フロアラウンドをおこない、職員からの相談、案件を解決へと導く。
  - ⑤ 新規ご入居者・ご利用者の情報を介護、医務室、調理部へ提供する。
- ◆ **口腔ケア**  
～施設内外関係者と連携を取り情報提供をしていく～
  - ① 各部署や家族からあがった相談、案件を訪問歯科へ迅速にリリースする。
  - ② 訪問歯科からあがった治療方針を家族へ迅速にリリースする。
  - ③ 訪問歯科からあがったケア方針を各部署へ迅速にリリースする。
  - ④ 新規ご入居者・ご利用者の情報を訪問歯科へ提供する。

目標 稼働率 【特養】90% 【短期】72%



部署行動計画

デイサービス

令和5年度を振り返って

ご利用者が安心して過ごせるには、何をしたら良いかを考え、笑顔で接し、ご利用者の気持ちを一番に考え行動した。一人ひとりに適した対応を行うことができ、「楽しい」と言っていたことが多くあった。職員の笑顔や声かけで、ご利用者が安心してくださるのだとわかることが多くあった。  
難しい場面では、ミーティングで情報を共有し、解決に向けて職員一丸となって対応することができた。

令和6年度 私たちが目指すもの

「丁寧な対応を心掛け、自分らしく楽しく過ごせるデイサービス」

尊敬の念を忘れず、笑顔と明るい声かけで、一日楽しく安心して過ごせるデイサービスを目指します。

具体的行動

◆ ご入居者・ご利用者に対して

～尊敬の念を忘れない、信頼関係を築く～

- ① 丁寧な言葉づかい。
- ② 笑顔で接し、会話を多くすることで信頼関係をつくる。
- ③ 自分のペースで行動でき、安心して過ごせるよう支援する。

◆ 職員として

～連携の強化と信頼～

- ① ご利用者が楽しく過ごせる行事、レクリエーションの提案、提供する。
- ② 情報共有し、連携、協力する。
- ③ 情報、気づきはご家族、ケアマネジャーにも連絡し、対応する。

◆ 環境整備

～安全と清潔～

- ① 毎日の清掃、整理整頓する。
- ② 歩行スペースの安全確保。
- ③ その日のうちに使用したものは片付ける。

◆ 口腔ケア

～口腔機能の維持と清潔保持～

- ① 昼食前の口腔体操を行う。
- ② ご自身でできることはしていただき、必要時には介助を行い、清潔を保つ。
- ③ 個々の観察、現状把握、必要時はご家族に連絡する。



目標 稼働率 70%

部署行動計画

調理部

令和5年度を振り返って

- サイクルメニュー導入後も、日々メニューの見直しなどを行い、より良いサイクルメニューになるよう努めた。
- 行事食や季節のイベントに合わせた献立の提供や、旬の食材を使用した献立を提供することができた。
- ともカフェでは、季節に合わせたメニューだけではなく、ご入居者やご利用者の前でおやつを作って提供するなど、五感を刺激するメニューの提供もできた。
- 嗜好調査を行い、よりご入居者やご利用者に食事を楽しんでいただけるよう献立の見直しを行った。
- ご入居者の食事などの様子をミールラウンドや介護職員などから情報収集し、多職種と協議しながら、調理部全員で協力し、新しいメニューや郷土料理、行事食を作りあげていきたい。

令和6年度 私たちが目指すもの

「口から美味しく食べていただける食事の提供」

食事を通して、健康増進や季節のうつろい年月の経過を感じていただける食事の提供を目指します。

具体的行動

◆ 献立の見直し

～調理マニュアルの見直し～

- ① 旬の食材や新しいメニューを考え、サイクルメニューを改善する。
- ② 行事食や郷土料理の充実を図る。
- ③ ご入居者、ご利用者への嗜好調査を実施し、献立に反映する。

◆ 調理技術の向上

～調理技術・盛り付けの向上～

- ① 食材の切り方や大きさを統一し、食べやすい形態になるよう工夫する。
- ② 献立の見直しを実施することで、味付けの均一化を図る。
- ③ 調理する人によって、バラつきが出ないように、調理方法を統一する。

◆ 調理職員の意識向上・調理作業の統一化

～職員同士での相互理解～

- ① 職員同士の相互理解を高め、日頃からコミュニケーションを取るようになる。
- ② 毎朝、朝礼を行い、常に調理部門で情報を共有する。
- ③ 現場からの意見や要望を共有する。

◆ 厨房環境の見直し

～厨房内の清潔を保つ～

- ① 食材の保存方法に注意する。
- ② 厨房内の清潔、整理を心がける。
- ③ 衛生管理の徹底。



目標 食品ロス 10%削減 新規メニュー 10食追加

部署行動計画

事務局

令和5年度を振り返って

- **様々な準備**
  - 事業継続計画（BCP）の内容をより具体的な表現に改め、タイムスケジュールを付け加えることで読みやすいものとした。今後は年1回のペースで現状に合わせた更新を行う。
  - 例年どおりメンテナンスを実施したが、もはやメンテナンスでは対応が困難なことがあり、本体更新が視野に入ってきている。備蓄品については備蓄量の増強、数量や有効期限の管理に努めた。
- **物価高騰対策**
  - 施設の運営コスト削減の一環としてガス契約の見直しを実施した結果、ガス使用料については相当額の削減ができた。食材や日常生活必需品については値上げが相次ぎ、全体的には物価高騰の影響を受け続けている。
  - LED照明への切り替えを進めており、全体的に50%程度は完了した。今年度も継続し、（一部を除き）切り替えが完了する予定。
  - インターネットを通じての物品購入の頻度は2年前と比較して大幅に増えたが、こちらも物価高騰が進んでいる。今後も積極的に活用していく。
- **人材確保**
  - 続年数に応じた退職金共済の掛金増額については現在検討を進めている。介護報酬改定や物価高騰など、様々な要因と絡めることで、施設の運営に影響が出ないように調整する。
  - 特養の相談員とは週1度のペースで情報や課題の共有を行った結果、ご利用者（所待機者）の確保につながった。今後は、特に利用者数が減少している通所についてもテコ入れを実施する。

令和6年度 私たちが目指すもの  
安定経営の持続

具体的行動

◆ 介護報酬改定の対応

- ① 常に情報を収集し、対応の遅滞や解釈の誤りを防ぐ。
- ② 加算項目よりも減算項目を強く意識し、大規模な報酬減や返還を防ぐ。
- ③ 改定内容に則り、次回の運営指導（監査）に向けた準備を進める。

◆ 安定的な利用者確保

- ① 定期的に相談員と利用者確保に関する情報や課題を共有する機会を設ける。
- ② 利用料変更の際は、居宅介護支援事業所等に案内を送付し、利用者確保の一環とする。
- ③ 他施設や他事業所と関わる機会を増やし、利用者確保手段の情報を収集する。

◆ 運営コスト削減・人材定着

- ① インターネットでの物品購入や契約内容の見直しなど、あらゆる面で支出を抑える。
- ② 照明のLED化をはじめとし、省エネ・省コストを意識した施設設備の充実を図る。
- ③ 処遇改善加算の一本化に合わせ、賃金や手当をより良い内容に改める。

目標 事業活動資金収支差率 15%

ともの家 3カ年運営実績

特別養護老人ホームともの家		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和3年度	稼働率	77.3%	77.2%	82.1%	84.1%	82.3%	81.4%	81.5%	81.3%	81.8%	79.4%	80.2%	82.4%	80.9%
	利用延人数	2,088	2,153	2,216	2,347	2,295	2,199	2,274	2,200	2,278	2,216	2,021	2,298	25,585
	収入(円)	28,733,838	29,803,854	30,660,771	32,512,817	31,855,315	30,576,819	31,654,729	30,886,431	31,819,281	30,889,052	28,285,535	32,191,414	369,909,836
令和4年度	稼働率	83.1%	83.5%	81.7%	83.5%	81.7%	78.3%	78.2%	80.9%	82.4%	80.7%	80.9%	78.9%	81.1%
	利用延人数	2,243	2,331	2,206	2,330	2,280	2,115	2,183	2,184	2,298	2,252	2,030	2,201	26,653
	収入(円)	31,188,585	32,506,338	30,678,625	32,435,888	31,340,109	29,008,713	31,471,373	30,478,011	32,117,172	31,457,103	28,473,465	30,980,877	372,138,059
令和5年度	稼働率	77.0%	77.7%	83.5%	89.9%	91.1%	88.9%	88.0%	88.0%	81.7%	81.7%	83.0%	85.0%	84.5%
	利用延人数	2,078	2,169	2,255	2,509	2,543	2,401	2,454	2,321	2,280	2,279	2,185	2,372	27,826
	収入(円)	28,923,932	30,498,230	32,356,512	35,288,407	35,164,330	34,322,075	34,685,319	32,743,001	32,034,966	32,052,894	29,000,000	33,000,000	390,209,666

ショートステイともの家		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和3年度	稼働率	82.3%	73.5%	48.7%	81.9%	78.1%	83.0%	87.1%	71.3%	77.7%	74.9%	72.9%	70.0%	88.4%
	利用延人数	187	228	146	192	242	189	206	214	241	232	204	217	2,500
	収入(円)	2,535,185	3,314,556	2,083,188	2,776,502	3,350,888	2,565,456	2,935,670	3,120,322	3,423,800	3,221,451	2,887,773	3,124,656	35,348,427
令和4年度	稼働率	80.3%	77.4%	76.0%	88.4%	80.0%	83.0%	86.5%	55.3%	31.8%	55.2%	61.4%	64.2%	64.0%
	利用延人数	241	240	228	212	214	189	206	166	98	171	172	199	2,336
	収入(円)	3,133,308	3,641,712	3,281,422	3,048,435	3,062,824	2,715,295	2,990,478	2,452,807	1,393,637	2,460,502	2,507,515	2,889,228	33,557,159
令和5年度	稼働率	64.0%	70.0%	81.7%	90.0%	95.2%	92.0%	96.8%	83.0%	80.0%	82.9%	70.0%	75.0%	82.6%
	利用延人数	192	210	185	186	171	156	176	188	186	195	200	210	2,256
	収入(円)	2,648,452	3,144,842	2,668,499	2,690,417	2,322,742	2,398,778	2,568,539	2,691,454	2,659,323	2,838,491	2,900,000	3,100,000	32,829,336

デイサービスともの家		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和3年度	稼働率	83.3%	74.6%	73.6%	70.9%	68.7%	65.5%	68.9%	65.8%	66.0%	61.0%	58.7%	61.2%	68.2%
	利用延人数	275	235	243	234	206	216	217	217	208	183	176	211	2,621
	収入(円)	2,605,884	2,412,284	2,367,569	2,305,239	2,015,866	2,133,672	2,225,648	2,174,287	2,139,989	1,896,763	1,810,310	2,143,977	26,231,287
令和4年度	稼働率	80.3%	82.7%	80.6%	58.4%	50.9%	60.0%	59.4%	51.3%	48.0%	48.0%	51.0%	49.9%	54.9%
	利用延人数	190	207	200	184	168	180	187	171	143	131	153	172	2,086
	収入(円)	1,916,359	2,083,592	2,080,765	1,853,070	1,661,592	1,793,309	1,885,119	1,703,325	1,395,380	1,388,942	1,542,452	1,731,781	21,053,686
令和5年度	稼働率	47.0%	45.2%	50.6%	54.0%	51.7%	50.5%	47.3%	47.9%	51.1%	47.3%	50.0%	50.0%	48.4%
	利用延人数	141	156	187	170	163	159	156	158	181	142	158	158	1,889
	収入(円)	1,442,181	1,567,588	1,878,419	1,714,221	1,629,381	1,534,012	1,497,639	1,542,122	1,509,221	1,348,295	1,500,000	1,500,000	18,400,479

※ 令和5年度2月及び3月については予測値  
 ※ 令和4年度については、8月～9月及び12月～1月にかけて、新型コロナウイルス感染症における施設内クラスターが発生  
 ※ 令和5年度については、8月～9月及び1月～2月にかけて、新型コロナウイルス感染症における施設内クラスターが発生





---

**MEMO**

---

Lined area for writing notes, consisting of multiple horizontal lines.

